

# 6月の県内景況調査結果の概要

## 1. 主要指標の前年同月比D I値の動き

令和6年6月のD I値は8指標中、「売上高」「収益状況」「雇用人数」が下降し、「景況」「販売価格」「資金繰り」が上昇となり、「取引条件」「設備操業度」は横ばいであった。

## 2. 県内中小企業の景況の現状

今月は前月に比べて、売上高と収益状況は下降したが、景況はやや上昇した。長期にわたる住宅着工の減少により、製材・木材業、畳小売業、板金・電気工事業において、厳しい状況が続いている。また原材料費、人件費、電気料金、燃料費の高騰が継続しており、経営を圧迫しているとの報告もある。その他依然として求人が厳しい状況が続いており、待遇改善を図り募集を行っているが、効果が少なく、人材確保に苦戦しているの報告も受けた。

県内金融経済概況によると徳島県内の需要動向は設備投資が増加しており、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっており、公共投資は持ち直している状況である。

内閣府経済報告では、足踏みも見られるが緩やかに回復しているとのこと。先行きについては、雇用・所得情勢が緩やかに改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要がある。

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

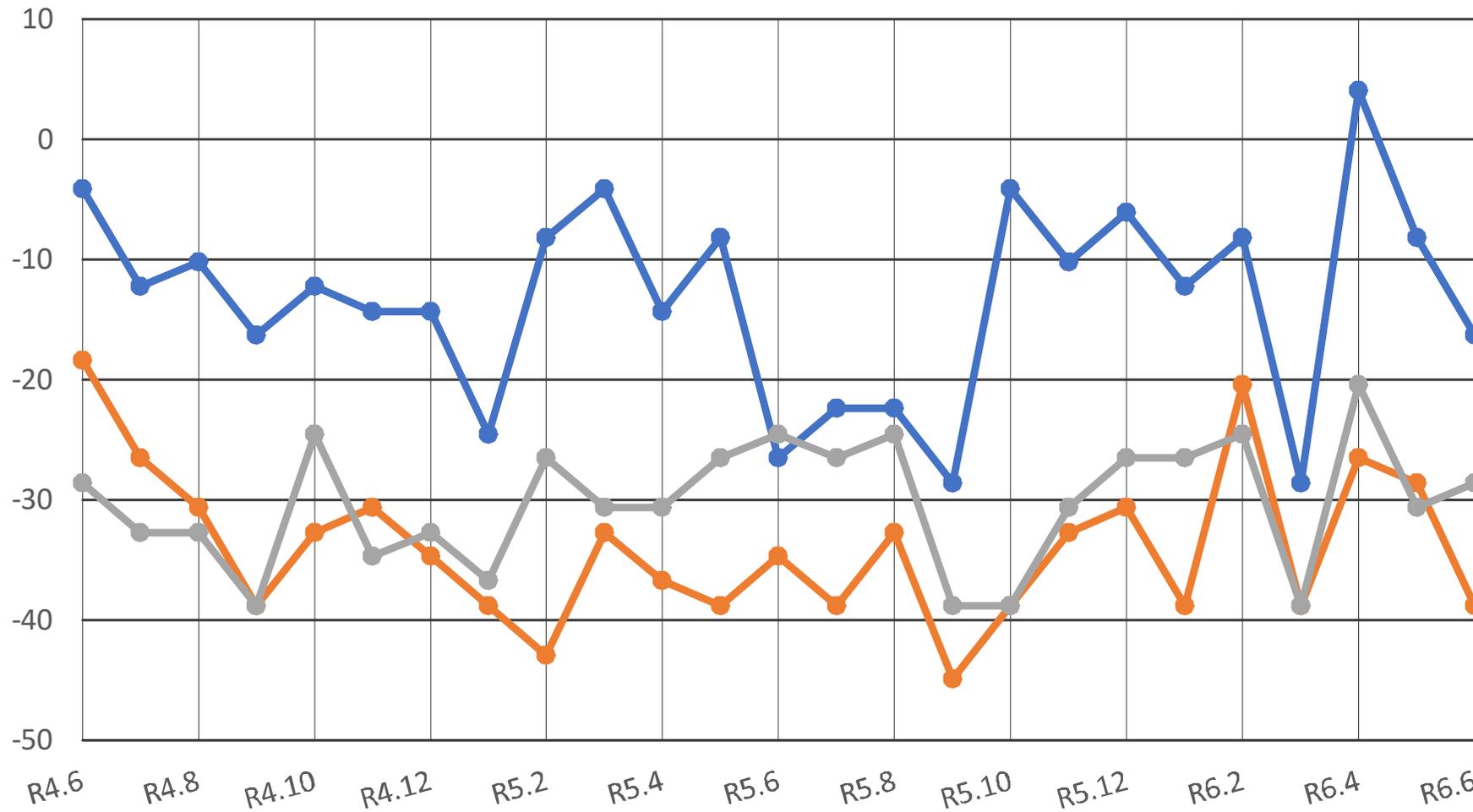
	R5 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比 増減
景況	-24.5	-26.5	-24.5	-38.8	-38.8	-30.6	-26.5	-26.5	-24.5	-38.8	-20.4	-30.6	-28.6	2.0
売上高	-26.5	-22.4	-22.4	-28.6	-4.1	-10.2	-6.1	-12.2	-8.2	-28.6	4.1	-8.2	-16.3	-8.1
収益状況	-34.7	-38.8	-32.7	-44.9	-38.8	-32.7	-30.6	-38.8	-20.4	-38.8	-26.5	-28.6	-38.8	-10.2
販売価格	36.7	30.6	30.6	32.7	42.9	38.8	34.7	36.7	26.5	30.6	30.6	28.6	32.7	4.1
取引条件	-18.4	-10.2	-10.2	-8.2	-10.2	-14.3	-12.2	-10.2	-14.3	-12.2	-10.2	-12.2	-12.2	0.0
資金繰り	-18.4	-20.4	-20.4	-30.6	-28.6	-20.4	-22.4	-26.5	-16.3	-26.5	-16.3	-20.4	-18.4	2.0
設備操業度	-10.2	-8.2	-8.2	0.0	-2.0	-2.0	-2.0	-8.2	-4.1	-8.2	-10.2	-6.1	-6.1	0.0
雇用人員	-2.0	8.2	-2.0	0.0	-4.1	-4.1	-2.0	0.0	0.0	-4.1	2.0	8.2	2.0	-6.2

※DI値・・・好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値のこと。

徳島県中小企業団体中央会

# 前年同月比D I の推移

売上高 収益状況 景況



## [景況関連の報告]

### 【製造業】

#### <食料品>

1. 味 噌・前年同月比でみその生産量は102.9%、出荷量は102.6%であり堅調に推移しているが、前月比ではみその生産量は98.5%、出荷量は94.5%となり出荷量の伸びが少し落ちてきている。また原料調達においてはR6年産の国産米の契約が未だにできない状況が続いており、先行きが非常に不安視されている。
2. 漬 物・資材・人件費の高騰で収益状況は悪化している。特に、メーカーと原料農家共に塩などの原料や梱包資材など的高騰が収益悪化の原因となっている。一部、価格転嫁は行われているものの、収益改善には十分ではない。

#### <繊維・同製品>

3. 縫 製・特定技術制度における工業製品製造業分野の新たな業務区分の一つに縫製が追加されたということは、縫製業界にとって重要なニュースであった。しかし、人員が確保出来る喜びと反対に最低賃金の上昇により加工費と人件費のバランスがますます取りにくくなるという懸念もあり、これに対する具体的な対応策を考えることが急務である。
4. 縫 製・引き続き、受注数は標準化されない状態には変化が見られない。生産効率の工夫がポイントとなっている。機械化が進まない中、人材確保が重要である。人数的に見て社員数は充足しているが、手作業も多い工程もある上、納期がタイトであることから、外部委託に頼らざるを得ない現状であるが、諸経費高騰の折から営業利益に苦慮している。そのほか諸経費も高値止まりで製造原価も上昇したままである。品番も多いことから資材置き場の確保も迫られている。また新規取引先は大方がコンペ形式になっており、コスト競争が主条件である傾向は改善されていない。

#### <木材・木製品>

5. 製 材・住宅建築は30ヶ月連続の前年同月割れ（全国値）で、木材の動きがこれまでにないくらい悪く、プレカットの稼働率も下がっている。最近の円安で外材製品の値上げ要請があるが、家が建たない中、販売価格を上げることのできない状況。電気代が上昇する中、製材メーカーは苦戦しているところである。需要の減るお盆時期を控え、先行き不透明であるが、県内では大手製材が稼働予定であり、スギ丸太の需要先として期待されている。
6. 木 材・感覚的には先月と変わらない状況で、ほんの少しでも明るい展望が見えたら良いが、円安にも変わらず、徳島県の人口減少もあって、なかなか思うように家が建つようにならない。リフォーム関連は順調と聞いている。

## <印刷>

7. 印刷 刷・6月は総会など定期的な行事があるものの、前年と違った形式や仕様の変化も訪れ、売上げは減少傾向にある。毎年のことではあるが7月になった途端に閑散とした状態となる。私たちはイベントや行事、催し物を追いかけて、個々のお客様からさらなる需要を引き出す、工夫と実行をしていかなければならない。
8. 印刷 刷・6月下旬に四国4県の印刷工業組合の組合員が集まり協議会を開き色々情報交換を行った。ほとんどの組合員がペーパレス化による仕事の減少、それに伴う他社との競争の激化など厳しい状況が続いているとのことだった。また働き方改革による労務管理の面でも色々問題があり、改善するために取り組んでいる組合員も多かったが、一番頭を悩ませている問題は求人広告を出しても効果が見えず人材が確保できないということだった。

## <窯業・土石製品>

9. 生コン ン・6月の出荷量は昨年同月と比べて約40%減少。県西部での出荷は官工事の減少がそのまま経営状況の悪化に結びつく状況にあり、生コンクリートの出荷量の減少に伴う経費削減はとうに限界であり、唯一の対応策としては価格の引き上げで対応するしか今のところ対策が見当たらない。
10. 生コン ン・6月の出荷数量は、対前年同月比11%の減であった。要因としては、官公需において、県土整備部での、防災工事・河川改修工事など既契約分での工事があるものの、新規での公共工事及び四国横断自動車道工事の進捗の遅れが考えられる。工場での収益については、価格引上げにも関わらず年間を通じて大幅な出荷数量の減少という結果により、経営環境は依然として厳しい。

## <鉄鋼・金属>

11. 鉄 鋼・全体として景況感に大きな変化は見られず、設備操業度も概ね横ばいで推移しているが、諸物価等の高騰の影響を受け収益増にはつながっておらず、今後もしばらくは厳しい状況が続くそうである。
12. ステンレス・国内外ともに設備投資も含めた企業活動については、持ち直し傾向が続いていたが、ここに来て足踏み感がある。原材料等の仕入れ価格については高止まりが継続しており、今後も為替の影響や人件費、物流コストのUP等の影響により更なる値上げも懸念される。海外景気の下振れや中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響など懸念材料も多くあり、まだまだ先行きは不透明である。

## <一般機器>

13. 機械金属 属・一部には景況感の持ち直しの動きも見られるものの、引き続き、原材料費、労務費、エネルギーコストの高騰に加え、能登半島地震の影

響や国際情勢の緊迫化など、諸々の不安定要因により、先行きが見通せない不透明な経営環境に大きな変化は見られない。また、需要の停滞をはじめ、従業員の確保難などが、依然として、経営上困難な課題として見受けられる。

## 【非製造業】

### <卸売業>

14. 食糧 卸・令和5年産米の需給が逼迫しており、令和6年産新米の出回りまで供給調整を行っているところである。

### <小売業>

15. 自転車・円安により価格が上昇しているため、購買意欲の低下につながる事が懸念される。

16. ショッピングセンター・30周年のセールが好評で中小の専門店は売上110%以上、大手チェーン店も105%以上となっている。スーパーの売り上げは100%を確保しているが、若干客単価の上昇で支えられている。全店の売り上げは昨年対比約106%、客数は101%、客単価105%という結果となっている。

17. ショッピングセンター・店舗改装による工事のため客数は例年より下まわり気味である。一部の店（レストラン街、アミューズメント他）は昨年を上回り収益を上げている。

18. 電気機器・気温上昇の影響もあり、省エネ型エアコンが順調に動き出した。映像関連商品はオリンピック等イベントに期待している。

19. 畳 ・梅雨入り前後に納品するところはあったが、本格的な梅雨とともに現場は先延ばし、新築、一般家庭ともに少なく、リフォームは平年並みであった。

### <商店街>

19. 徳島市・セールスタートが前倒しになり、6月の売上げ自体は伸びたが、7月に響きそうである。

20. 徳島市・居酒屋には多くの人が流れているが、物販は芳しくない状態が続いている。

21. 鳴門市・6月は恒例の100円商店街が開催された。今回は広告の予算が確保できたので前回より多くPRできた。過去最高の来場者だった。7、8月はイベントが続く予定である。

### <サービス業>

22. 自動車整備業・6月度の自動車販売状況は、軽自動車の中古車販売が前年度を上回った以外はすべて前年度を下回り、トータルでは対前年度比6.3%減となった。登録車の新車販売は前年度より14.7%減と大きく下回った。全国的に見ても6か月連続で前年割れとなっているようだ。収益情報の目安とみている継続検査の台数は、登録車は前年同月より12%減、軽自動車は7.1%減となった。2024年の上半期に関しては、各メーカーの認証不正による稼働停止の影響もあり、販売の方も収益に影響がでている。販売、整備以外でも工夫が必要だ。

23. 土木建築業・前年同月と比べて、設計人数は同じであった。人員増加(企業努力)による設備追加により 電子機器の在庫数量は増加した。施設投資については、PC本体の更新 (Windows10からWindows 11への移行に合わせて)、官側の動向を見ながら随時更新する。設備操業度については、持ち帰り業務のため、徳島・池田に担当技術員の事務所を確保し、維持管理費は増加した。雇用人員については、道路の担当技術員の確保、有資格者の求人応募が少なく人員確保が難しくなる反面、河川巡視員の無資格技術員の応募が増えているが、やはり有資格者はほとんど応募がない。数年後、資格が必要となるため、社費にて資格修得実施している。
24. ビル管理・前年同期と比べ大きな変化はありませんが、原材料費の一部の高騰による資機材の値上げ、人件費の見直しによるコストの上昇の影響により、依然として厳しい経営状況が続いています。一方、求人環境においては、待遇改善策により応募者が増加傾向にあることから、引き続き、求人活動に注力し、安定した人材の確保に努めたいと考えています。宿泊施設の稼働状況については、閑散期に入り、外国人観光客や団体観光客が減少している状況です。一方で受注単価の見直し(単価の上昇)が進んでいることから、引き続き、適正な単価の見直しについて交渉を行っていく予定です。
25. 旅行業・旅行業は、大都市におけるインバウンドや、オーバーツーリズムなどと報道されているが、徳島の中小企業の旅行会社には恩恵はみられない。他県では、インバウンドをはじめとする旅行者向けの県内観光コースを自治体が地元の旅行会社へ発注し旅行商品として売り出す取り組み等好評で観光客の誘致、旅行会社の活性化もあるが、徳島では個々の企業努力のみである。また、大阪万博に向けて、プラン作成などおこなって行きたいが、団体でのバスの乗降、パビリオンの入場制限、食事等情報が全く入ってこないのでもどうすることも出来ずにいる。

#### <建設業>

26. 鉄骨・鉄筋工事業・例年なら仕事が少ないと言いながら、グレードによって多少の違いが見られたが、今年、特に後半、9月以降の仕事量の少なさはグレードによる違いが見られない。材料費は高止まり、副資材は上昇中、その中で仕事量の確保が最重要、喫緊の課題。小、中規模案件でも値崩れを起こさないよう注意が必要である。
27. 建設業・公共工事は前年度と比較して国、県及び市町村が減少している。特に国の発注が少ない。県は、発注件数は減少しているが、金額は増加している。(大型発注があった)

28. 板金工事業・先月と同様新築着工件数が減少傾向にある。

29. 電気工事業・6月分の戸建住宅新築件数137件(前年比91.9%)であった。

#### <運輸業>

29. 貨物運送業・6月に荷動きは先月よりは増加したが営業日数を考慮すると、横ばいに推移した。24年問題で若い運転手の雇用は低調で、高齢運転手が目立つ。一方軽油単価は、4月より値上がり傾向にあり、6月も前月比で約1円の値上がりとなり、経営を圧迫している。
30. 貨物運送業・運賃は多少上がったが、燃料高騰、車両維持費の高騰等に追いつけない事業者が多い。苦しい経営状況の中だが、運転手の労働時間短縮に伴い、実質的な賃上げを行った事業者も多く聞かれるようになってきた。